



# 平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月30日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ  
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大谷 喜一  
 (氏名) 加藤 博美

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	33,940	10.2	2,249	43.9	2,273	43.9	1,047	46.6
23年4月期第1四半期	30,791	2.6	1,563	12.1	1,580	15.2	714	7.5

(注) 包括利益 24年4月期第1四半期 1,047百万円 (67.8%) 23年4月期第1四半期 624百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	65.71	—
23年4月期第1四半期	50.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第1四半期	82,627	29,829	36.1	1,868.81
23年4月期	76,940	29,498	38.3	1,847.46

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 29,790百万円 23年4月期 29,450百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年4月期	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	10.0	4,080	19.4	4,010	15.6	1,970	16.1	123.56
通期	143,000	10.5	9,670	19.3	9,500	15.7	4,850	23.8	304.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期1Q	15,944,106 株	23年4月期	15,944,106 株
24年4月期1Q	3,102 株	23年4月期	3,102 株
24年4月期1Q	15,941,004 株	23年4月期1Q	14,101,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年5月1日～平成23年7月31日)におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響及び原子力災害による電力制限等依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの建て直しとともに、生産部門をはじめとして、緩やかながら回復基調で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規開発及びM&Aを効果的に活用し、また、都市型ドラッグストアでは、MDの改善及び店舗改装により販売力を強化し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高が339億4千万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は22億4千9百万円(同43.9%増)、経常利益は22億7千3百万円(同43.9%増)となり、四半期純利益は10億4千7百万円(同46.6%増)となり、いずれも順調に推移いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (医薬事業)

医薬事業は、既存店においては、堅調な来局患者数に加え、処方日数の長期化による単価増により、売上、利益とも前年を上回る水準で推移しております。

また、調剤業務のオートメーション化、業務の標準化を推進するとともに、グループとしてのスケールメリットを活用し、仕入原価、労務費及び各種コストを抑えることにより利益率が改善いたしました。

前連結会計年度の新規出店店舗、M&Aによりグループ入りした薬局も、順調な業績を継続しており、当第1四半期連結会計年度の業績に貢献しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、301億2千9百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント利益27億5百万円(同33.8%増)と増収増益を確保いたしました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計8店舗の出店を実施し、3店舗を閉店した結果、当社グループにおける薬局総数は453店舗となりました。

## (物販事業)

物販事業は、個人消費に回復の傾向が見られるものの、依然として高額商品をはじめとする消費マインドの停滞から脱しておらず、同業間の価格競争・統合再編成などドラッグストア事業は大変厳しい環境にあります。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルベ」の出店開発を推進するとともに、積極的に収益強化に取り組み、コスメティック商品、医薬品を軸としたMDの強化、効果的な販売促進手法の検証を行いました。

その結果、既存店における改善が着実に進捗し、また、暑さ対策商品の販売が好調に推移するなど、売上、利益とも前年同期を大幅に上回る水準となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、37億5千6百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は4千3百万円(前年同期は2千5百万円の損失)と、黒字転換を達成いたしました。

同期間の出店状況は、新規出店はなく、三宮店(兵庫県三宮市)の移転に伴う一時閉店により、ドラッグストア店舗総数は52店舗となりました。

## (その他の事業)

その他の事業における売上高は5千3百万円、セグメント損失は1千9百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より56億8千7百万円増の826億2千7百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金、たな卸資産、のれんが増加し、未収入金が減少したことによるものであります。

負債の残高は、53億5千7百万円増の527億9千8百万円となりました。主な要因は、買掛金及び有利子負債の増加によるものであります。

有利子負債の残高は、24億1千8百万円増加となる156億3千3百万円となりました。

純資産の残高は、3億3千万円増の298億2千9百万円となり、自己資本比率は2.2ポイントマイナスとなる36.1%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成23年5月30日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,437,879	20,908,782
受取手形及び売掛金	10,247,872	9,828,230
商品	8,268,413	8,829,980
貯蔵品	107,455	107,366
繰延税金資産	928,606	888,106
短期貸付金	235,400	822,288
未収入金	2,036,824	1,335,744
その他	898,265	652,096
貸倒引当金	△127,879	△130,066
流動資産合計	38,032,838	43,242,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,456,550	6,483,274
土地	5,420,785	5,465,785
その他(純額)	1,574,042	1,580,561
有形固定資産合計	13,451,378	13,529,621
無形固定資産		
のれん	13,867,280	14,254,955
その他	960,649	921,182
無形固定資産合計	14,827,929	15,176,138
投資その他の資産		
投資有価証券	2,959,577	2,961,178
繰延税金資産	1,233,263	1,209,681
敷金及び保証金	4,990,283	5,003,792
その他	1,638,972	1,739,183
貸倒引当金	△229,808	△266,028
投資その他の資産合計	10,592,288	10,647,807
固定資産合計	38,871,596	39,353,567
繰延資産		
株式交付費	35,750	31,828
繰延資産合計	35,750	31,828
資産合計	76,940,185	82,627,926

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,706,886	22,854,155
短期借入金	5,883,188	7,244,580
未払法人税等	2,421,980	954,652
預り金	6,722,371	7,090,667
賞与引当金	948,021	995,480
役員賞与引当金	9,375	6,258
ポイント引当金	313,371	313,371
災害損失引当金	11,000	8,200
その他	1,600,266	2,398,869
流動負債合計	37,616,460	41,866,235
固定負債		
社債	184,000	184,000
長期借入金	7,147,773	8,205,152
退職給付引当金	1,270,319	1,324,472
その他	1,222,684	1,218,792
固定負債合計	9,824,778	10,932,416
負債合計	47,441,238	52,798,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	13,227,209	13,557,418
自己株式	△4,918	△4,918
株主資本合計	29,778,237	30,108,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327,875	△317,683
その他の包括利益累計額合計	△327,875	△317,683
少数株主持分	48,584	38,510
純資産合計	29,498,946	29,829,273
負債純資産合計	76,940,185	82,627,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	30,791,146	33,940,547
売上原価	26,362,897	28,606,428
売上総利益	4,428,249	5,334,119
販売費及び一般管理費	2,865,046	3,084,852
営業利益	1,563,202	2,249,266
営業外収益		
受取利息	11,581	15,700
受取配当金	18,887	21,717
受取手数料	12,847	12,980
不動産賃貸料	23,323	25,557
業務受託料	9,516	27,085
その他	42,316	45,677
営業外収益合計	118,472	148,719
営業外費用		
支払利息	58,421	48,127
債権売却損	17,740	16,894
不動産賃貸費用	12,431	8,935
貸倒引当金繰入額	—	30,000
その他	13,021	20,262
営業外費用合計	101,613	124,219
経常利益	1,580,061	2,273,766
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,465
固定資産売却益	962	—
事業譲渡益	19,047	—
貸倒引当金戻入額	1,200	—
国庫補助金	31,196	—
その他	283	—
特別利益合計	52,689	3,465
特別損失		
固定資産除売却損	14,889	17,430
投資有価証券売却損	—	3,466
投資有価証券評価損	25,782	48,706
減損損失	—	65,583
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	160,596	—
その他	11,910	27,755
特別損失合計	213,178	162,942
税金等調整前四半期純利益	1,419,571	2,114,288
法人税等	702,607	1,076,808
少数株主損益調整前四半期純利益	716,964	1,037,480
少数株主利益	2,152	△10,074
四半期純利益	714,811	1,047,554



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	716,964	1,037,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,455	10,192
その他の包括利益合計	△92,455	10,192
四半期包括利益	624,508	1,047,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,355	1,057,746
少数株主に係る四半期包括利益	2,152	△10,074

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年5月1日 至平成22年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,998,702	3,729,577	62,866	30,791,146	—	30,791,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	26,998,702	3,729,577	66,173	30,794,453	△3,306	30,791,146
セグメント利益又は損失(△)	2,021,918	△25,797	△14,370	1,981,749	△401,688	1,580,061

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,688千円には、全社費用が328,337千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が43,233千円、セグメント間取引消去が30,117千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年5月1日 至平成23年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,129,823	3,756,884	53,838	33,940,547	—	33,940,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	30,129,823	3,756,884	57,145	33,943,854	△3,306	33,940,547
セグメント利益又は損失(△)	2,705,484	43,342	△19,392	2,729,434	△455,667	2,273,766

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,667千円には、全社費用が416,143千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が17,170千円、セグメント間取引消去が22,353千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。